

作成日： R5 年 1 月 19 日

令和 4 年度第 10 回 高松圏域自立支援協議会 相談支援部会 議事録

日付	令和 5 年 1 月 19 日(木)
時間	9 : 30 ~ 10 : 50
開催会場	ZOOM
参加機関等	地域生活支援センターこだま、障害者生活支援センターあい、障害者地域生活支援センターほっと、障害者相談支援センターりゅううん、地域活動支援センタークリマ、ライブサポートセンター、支援センターこがも、あじの里地域生活支援センター、障害者相談支援センターつなぐ、生活支援センターサンサン、相談支援事業所おりがみ、相談支援事業所 EVEN、相談支援事業所 COMPASS サポート、特定非営利活動法人自立ケアシステム香川、社会福祉法人高松市社会福祉協議会障がい者相談支援センター、障害者相談支援事業所ミルキーウェイ、相談支援事業所 A E R U、相談センターフリーダム、支援センターgaryu、みき相談支援センター、相談支援ナビット、シシィ相談支援事業所、障害者生活支援センターたかまつ、高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点 順不同 計 25 名

議題 1 : ①計画相談の受け入れ状況について

議事	○計画受け入れ状況の共有 ○新規事業所情報 シシィ相談支援事業所 初参加のためご挨拶いただく
----	--

議題 2 : 情報提供・共有

議事	○災害弱者安心ネットワークより情報提供 3 月 3 日 ~ 5 日 福島県震災写真展 瓦町フラッグ 3 月 5 日講演会 瓦町フラッグ 8 階参加無料 ○特別支援学校から担当者会議についてのお願い コロナの流行が始まり、家族の希望で担当者会を省略することが増えた。担当者会議を省略することでサービス等利用計画内に学校の役割が書いていても教員と共有できていないことがある。連携が途切れな
----	--

いように相談支援専門員から働きかけて欲しい。学校での取り組みも確認し、計画に反映させ共有して欲しい。

・一般校の場合はどのようにしたら良いか。

→ケース会開催については教頭を窓口にして依頼している。

スクールソーシャルワーカーが提案してくれることもある。

保護者を通して学校へ打診いただき、校長・教頭へ繋いでいただいている。

○災害時の緊急避難計画作成に関するモデル事業について

運営会議での取り組みを共有。詳細は運営会議議事録を参照ください。

ケースを通じて避難計画作成をおこない、課題の抽出や社会資源の確認をおこなう。

モデルケースを各部会から選出することとなり、相談支援部会からは難病または高次脳機能障害のケースで障害福祉サービスを利用されている方からモデルケースを選出する。身体障がい、知的障がい、精神障がい、発達障がい者は各専門部会からモデルケースを選出する。モデルケースとして選出したいケースがあれば次回相談支援部会までに部会長へ報告して欲しい。

【モデルケースの条件】

避難時に移動が困難な方（歩行状況が悪い、行動障害がある、精神的不調で外に出れない等、移動が困難な理由は問わない）

水害時を想定した避難計画を立てるため、水害リスクが0の地域は除く。地域毎のリスク一覧は運営会議議事録を確認ください。

○高次脳機能障害講演会

2月4日（土）10時～15時 Webのみ

リハビリテーション成人支援施設主催

国土交通省から受託したモデル事業の一環

「高次脳機能障害 理解と対応と対策」

○医療と福祉連携ワークショップ

精神保健福祉部会から周知

	<p>2月15日(水)午後 リハビリテーションセンター 自己紹介シートを記入を書きやすくした 今年度2回目の実施で対面でのグループ討議を予定。</p>
--	---

<p>議題3：来年度の部会及び活動について</p>	
<p>議事</p>	<p>【コア会議での協議内容について周知】</p> <p>① 部会長、サブリーダー、コア会議メンバーについて 運営会議で、部会長、サブリーダーの任期を2年とし、各部会で計画に進めていくことになった。 相談支援部会は令和5年度現状の体制を継続、令和6年度の体制については、令和5年度中に検討することとする。</p> <p>② 相談支援専門員の全把握 現任研修受講忘れによる資格失効を防ぐために情報を共有し相談支援部会の場で受講年をアナウンスする。 初任研受講年の申告を事務局まで各自でおこなう。</p> <p>③ 事例検討について 令和5年度は相談支援部会の場で2ヶ月に1回程度実施する。 事例は1回当たり3事例を出していただき、小グループに分かれて検討する。 事例提供は年度で順番を決めておく。事例提供の順番ではないが、早く検討したいケースがある場合は申し出ていただくことで途中差し込み対応をする。</p> <p>高松市障がい者基幹相談センター地域拠点が実施している事例検討があるが忙しくて参加できていない。困難ケースを検討するだけでなくケースをまとめること、他の方の意見を聞くことが大事だと思うので良い取り組みだと思う。</p> <p>制度の勉強が必要だと感じている。事例を出す時に何かテーマがあると出しやすい。→無作為で選んだケースを出すのでも良い。普段気にかけていないケースでも検討の場に出すことが大切。事例検討が無い月には研修を行う予定で制度の勉強もおこなっていく。</p>

事例を出す予定日に緊急の予定が入った場合はどうなるのか。予備の事例提供者を準備しておくのか。ぜひ参加したいので配慮いただきたい。

サービス等利用計画作成サポート研修会も実施され、お互いの計画を見せ合うことが増えると思う。良い効果を期待したい。

④ 研修について

事例検討が無い月で実施する。

研修内容については次回の相談支援部会で検討する。

⑤ 今年度出た課題の取り扱いについて

今年度たくさん出していただいた課題を、3月の相談支援部会で洗い出しをおこなう。最終抽出された課題を、令和5年度どのように解決に向けて取り組むか検討する。